



# 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月26日

上場会社名 山崎製パン株式会社  
コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	306,658	10.8	16,512	76.9	17,382	79.8	10,944	99.6
2023年12月期第1四半期	276,839	6.6	9,335	34.4	9,669	26.3	5,483	39.9

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 15,467百万円 (318.5%) 2023年12月期第1四半期 3,695百万円 (△56.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	53.58	—
2023年12月期第1四半期	26.45	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年12月期第1四半期	790,861		444,090		50.3	
2023年12月期	802,035		446,132		49.9	

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 397,632百万円 2023年12月期 400,137百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	—	—	25.00	25.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	606,000	7.5	24,000	16.4	25,500	12.1	16,000	13.8	78.33
通期	1,223,000	4.0	48,000	14.4	51,000	12.0	31,500	4.4	154.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	220,282,860 株	2023年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2024年12月期1Q	17,701,180 株	2023年12月期	14,328,495 株
-------------	--------------	-----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	204,268,029 株	2023年12月期1Q	207,294,925 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年1月1日~2024年3月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍から経済活動の正常化が進み景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、実質賃金の減少が続く個人消費は低迷いたしました。

当業界におきましては、物価高の影響によりお客様の生活防衛意識が高まり節約志向が強まる中で販売競争が一段と激化するとともに、糖類や油脂など原材料価格の高止まりもあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、人流の回復やインバウンドの増加もあり来店客数が増加し、パンやおにぎりなどが好調に推移しました。

このような情勢下にあります、当社グループは、科学的根拠をもった新型コロナウイルス感染防止対策を継続し製品の安定供給につとめつつ、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格製品を充実する一方で、女性製品開発担当者による付加価値を付けた製品開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進しました。また、消費者キャンペーンを活用して売上拡大に取り組み、業績向上をはかりました。

デイリーヤマザキやフレッシュベーカリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて日次管理・週次管理・時間管理の経営手法により日々の仕事の精度向上をはかるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携した女性製品開発担当者による商品開発を推進し、業績向上をめざしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,066億58百万円(対前年同期比110.8%)、営業利益は165億12百万円(対前年同期比176.9%)、経常利益は173億82百万円(対前年同期比179.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は109億44百万円(対前年同期比199.6%)となり、山崎製パン(株)単体の食パン、菓子パンが好調に推移したことに加え、連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

## ①食パン部門(売上高285億6百万円、対前年同期比112.6%)

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が伸長するとともに、「スイートブレッド」、「モーニングスター」などの低価格食パンや主力製品のハーフサイズ食パンが伸長しました。さらに、本年1月に品質を向上させた「ダブルソフト」が店頭での品質訴求や新発売の「2枚入り」と併せた売場づくりの推進もあって好調に推移し、前年同期の売上を大きく上回りました。

## ②菓子パン部門(売上高1,184億93百万円、対前年同期比116.5%)

菓子パンは、主力の「コッペパン」が大きく伸長するとともに、ヤマザキ菓子パンや「ドーナツステーション」などの低価格製品が伸長しました。また、「薄皮たまごぱん」など新たに惣菜製品をラインアップした薄皮シリーズが伸長するとともに、生クリームを使用した新製品「極生ドーナツ」が売上に寄与するなど、前年同期の売上を大きく上回りました。

## ③和菓子部門(売上高195億15百万円、対前年同期比106.0%)

和菓子は、主力の串団子が大きく伸長するとともに、前期に規格の充実をはかった大福や饅頭、「北海道チーズ蒸しケーキ」が伸長しました。さらに、和洋折衷のチルド製品「クリームたっぷり生どら焼」が売上に寄与し、前年同期の売上を上回りました。

## ④洋菓子部門(売上高400億4百万円、対前年同期比104.0%)

洋菓子は、主力の2個入り生ケーキや「まるごと」シリーズ、大きなシューシリーズが伸長するとともに、「クリームたっぷりとろけるシュー」など値ごろ感のある「喫茶気分」シリーズが売上に寄与しました。さらに、コンビニエンスストア向け製品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高 360 億 66 百万円、対前年同期比 103.9%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおいておにぎりが好調に推移し主要取引先であるコンビニエンスストアチェーンとの取引が好調に推移するとともに、大徳食品(株)において麺の品質向上により調理麺の売上が拡大したこともあり、前年同期の売上を上回りました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高 431 億 15 百万円、対前年同期比 109.1%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム」やヤマザキビスケット(株)の「チップスター」、(株)東ハトの「キャラメルコーン」など、各社の主力品が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は2,857億1百万円（対前年同期比110.7%）、営業利益は159億14百万円（対前年同期比172.0%）となりました。

## &lt;流通事業&gt;

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、「ランチパック 大盛り」シリーズやデイリーホット商品など、女性製品開発担当者による魅力ある商品開発を推進し、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトにおいてデイリーホットの品質向上や収益改善などに取り組み、それらの取組みを各工場のモデル店に拡大して工場と連携した業績改善を開始するとともに、店舗開発や店舗改装によるヤマザキらしい店づくりに取り組みました。この結果、第1四半期は、チェーン全店売上高が前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は 174 億 42 百万円（対前年同期比 113.3%）、営業損失は 3 億 21 百万円（前年同期は 7 億 50 百万円の営業損失）となりました。

## &lt;その他事業&gt;

その他事業につきましては、売上高は 35 億 14 百万円（対前年同期比 107.5%）、営業利益は 7 億 77 百万円（対前年同期比 113.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は 7,908 億 61 百万円で、前連結会計年度末に対して 111 億 73 百万円減少しました。流動資産は 3,029 億 29 百万円で、自己株式の取得に伴う支出等により、前連結会計年度末に対して 118 億 58 百万円減少しました。固定資産は 4,879 億 32 百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して 6 億 84 百万円増加しました。負債合計は 3,467 億 70 百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済等により、前連結会計年度末に対して 91 億 31 百万円減少しました。純資産は 4,440 億 90 百万円で、自己株式の取得等により、前連結会計年度末に対して 20 億 41 百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は 50.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかに回復していくことが期待されますが、お客様の節約志向が続く中で、乳製品やレーズン、カカオ豆など原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇が予測され、厳しい経営環境になるものと思われま

す。このような状況下にあります。当社グループは、引き続き「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組んでまいります。

当第2四半期につきましては、山崎製パン(株)単体の食パン、菓子パンを中心に堅調なスタートを切っておりますが、当社を取り巻く経営環境は先行き不透明な状況であるため、2024年2月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を据え置いております。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	134,937	125,251
受取手形	148	126
売掛金	134,965	133,390
商品及び製品	13,750	13,741
仕掛品	728	1,023
原材料及び貯蔵品	15,203	14,886
その他	15,396	14,845
貸倒引当金	△341	△336
流動資産合計	314,787	302,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	433,007	434,438
減価償却累計額	△318,729	△320,152
建物及び構築物（純額）	114,277	114,286
機械装置及び運搬具	581,140	581,887
減価償却累計額	△492,160	△495,272
機械装置及び運搬具（純額）	88,980	86,614
工具、器具及び備品	43,677	44,044
減価償却累計額	△35,068	△35,395
工具、器具及び備品（純額）	8,609	8,649
土地	124,291	124,427
リース資産	21,469	21,568
減価償却累計額	△14,081	△13,945
リース資産（純額）	7,387	7,622
建設仮勘定	4,040	4,335
有形固定資産合計	347,586	345,934
無形固定資産		
のれん	9,052	8,361
その他	12,365	12,332
無形固定資産合計	21,417	20,693
投資その他の資産		
投資有価証券	80,580	86,010
長期貸付金	1,218	1,207
退職給付に係る資産	649	644
繰延税金資産	9,621	6,701
その他	28,574	29,129
貸倒引当金	△2,401	△2,390
投資その他の資産合計	118,242	121,303
固定資産合計	487,247	487,932
資産合計	802,035	790,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,239	85,775
短期借入金	55,608	55,497
リース債務	3,551	3,531
未払法人税等	11,576	6,358
未払費用	41,541	40,561
賞与引当金	5,793	16,114
店舗閉鎖損失引当金	48	48
資産除去債務	21	14
その他	50,495	43,017
流動負債合計	257,877	250,919
固定負債		
長期借入金	16,690	14,452
リース債務	4,282	4,443
役員退職慰労引当金	5,113	5,213
退職給付に係る負債	58,293	58,057
資産除去債務	4,813	4,815
その他	8,831	8,868
固定負債合計	98,025	95,851
負債合計	355,902	346,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	343,395	349,191
自己株式	△26,185	△38,091
株主資本合計	337,856	331,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,112	41,262
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	6,494	5,221
退職給付に係る調整累計額	19,575	19,302
その他の包括利益累計額合計	62,281	65,885
非支配株主持分	45,994	46,458
純資産合計	446,132	444,090
負債純資産合計	802,035	790,861

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	276,839	306,658
売上原価	186,137	202,847
売上総利益	90,701	103,811
販売費及び一般管理費	81,365	87,298
営業利益	9,335	16,512
営業外収益		
受取利息	41	109
受取配当金	75	95
固定資産賃貸収入	244	245
持分法による投資利益	82	80
為替差益	68	522
雑収入	296	301
営業外収益合計	808	1,354
営業外費用		
支払利息	174	192
固定資産賃貸費用	76	68
災害による損失	126	128
雑損失	97	94
営業外費用合計	475	484
経常利益	9,669	17,382
特別利益		
固定資産売却益	28	46
関係会社株式売却益	76	300
投資有価証券売却益	—	186
その他	36	6
特別利益合計	141	540
特別損失		
固定資産除売却損	203	235
減損損失	49	36
その他	127	35
特別損失合計	380	307
税金等調整前四半期純利益	9,429	17,614
法人税等	3,428	5,874
四半期純利益	6,001	11,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	518	796
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,483	10,944



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	6,001	11,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	5,213
為替換算調整勘定	△1,989	△1,209
退職給付に係る調整額	△86	△289
持分法適用会社に対する持分相当額	13	11
その他の包括利益合計	△2,305	3,726
四半期包括利益	3,695	15,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,446	14,548
非支配株主に係る四半期包括利益	249	918

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,372,500株の取得を行っております。この結果等により、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が11,905百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が38,091百万円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	25,327	—	—	25,327	—	25,327
菓子パン	101,716	—	—	101,716	—	101,716
和菓子	18,410	—	—	18,410	—	18,410
洋菓子	38,473	—	—	38,473	—	38,473
調理パン・米飯類	34,718	—	—	34,718	—	34,718
製菓・米菓・その他商品類	39,526	—	—	39,526	—	39,526
その他	—	15,397	3,228	18,625	—	18,625
顧客との契約から生じる収益	258,172	15,397	3,228	276,798	—	276,798
その他の収益	—	—	41	41	—	41
外部顧客への売上高	258,172	15,397	3,269	276,839	—	276,839
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,759	2,192	9,151	14,103	△14,103	—
計	260,932	17,589	12,421	290,943	△14,103	276,839
セグメント利益又は損失(△)	9,251	△750	686	9,187	148	9,335

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額148百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	28,506	—	—	28,506	—	28,506
菓子パン	118,493	—	—	118,493	—	118,493
和菓子	19,515	—	—	19,515	—	19,515
洋菓子	40,004	—	—	40,004	—	40,004
調理パン・米飯類	36,066	—	—	36,066	—	36,066
製菓・米菓・その他商品類	43,115	—	—	43,115	—	43,115
その他	—	17,442	3,465	20,908	—	20,908
顧客との契約から生じる収益	285,701	17,442	3,465	306,609	—	306,609
その他の収益	—	—	49	49	—	49
外部顧客への売上高	285,701	17,442	3,514	306,658	—	306,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,365	2,230	9,821	15,417	△15,417	—
計	289,067	19,673	13,335	322,076	△15,417	306,658
セグメント利益又は損失(△)	15,914	△321	777	16,370	142	16,512

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額142百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 連結販売実績

(単位:百万円)

セグメント名称	区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	25,327	9.1%	28,506	9.3%	3,178	112.6%
	菓 子 パ ン	101,716	36.7	118,493	38.6	16,776	116.5
	和 菓 子	18,410	6.7	19,515	6.4	1,104	106.0
	洋 菓 子	38,473	13.9	40,004	13.0	1,531	104.0
	調理パン・米飯類	34,718	12.5	36,066	11.8	1,347	103.9
	製菓・米菓・その他商品類	39,526	14.3	43,115	14.1	3,589	109.1
	食 品 事 業 計	258,172	93.2	285,701	93.2	27,528	110.7
	流 通 事 業	15,397	5.6	17,442	5.7	2,045	113.3
	そ の 他 事 業	3,269	1.2	3,514	1.1	245	107.5
	合 計	276,839	100.0	306,658	100.0	29,819	110.8

## (2) 主要子会社実績

(単位:百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第1四半期	当第1四半期	増 減 額	増 減 率	前第1四半期	当第1四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	25,715	27,102	1,386	5.4%	953	1,105	152	16.0%
(株)サンデリカ	24,162	25,082	920	3.8	107	562	454	421.8
ヤマザキビスケット(株)	7,027	8,595	1,568	22.3	134	954	819	609.4
(株)YKベーキングカンパニー	—	8,201	—	—	—	127	—	—
(株)東ハト	6,920	7,375	455	6.6	448	527	79	17.7
(株)ヴィ・ド・フランス	6,807	7,264	456	6.7	△ 44	349	394	—

## (3)2024年12月期第1四半期の単体業績 (2024年1月1日～2024年3月31日)

## ①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	214,409	7.1	11,468	60.2	13,138	61.4	9,241	65.0
2023年12月期第1四半期	200,270	6.2	7,158	42.2	8,140	22.6	5,600	20.7

## ②単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
2024年12月期第1四半期	563,988		320,547	
2023年12月期	572,040		323,456	

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (4)単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品 種 別	前第1四半期 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)		当第1四半期 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	24,447	12.2%	26,260	12.2%	1,812	107.4%
菓子パン	91,627	45.8	99,725	46.5	8,097	108.8
和菓子	18,399	9.2	19,286	9.0	886	104.8
洋菓子	29,078	14.5	30,158	14.1	1,079	103.7
調理パン・米飯類	13,192	6.6	13,525	6.3	333	102.5
製菓・米菓・その他商品類	11,298	5.6	11,814	5.5	515	104.6
小計	188,045	93.9	200,770	93.6	12,725	106.8
デイリーヤマザキ事業	16,223	8.1	18,241	8.5	2,018	112.4
内部消費	△ 3,997	△ 2.0	△ 4,602	△ 2.1	△ 604	—
合計	200,270	100.0	214,409	100.0	14,138	107.1

## (5)単体営業利益増減の内訳

(単位:百万円)

	2023年 第1四半期		2024年 第1四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)	7,881	4.2	11,785	5.9	3,904	49.5
デイリーヤマザキ事業	△ 723	△ 4.5	△ 317	△ 1.7	405	—
合計	7,158	3.6	11,468	5.3	4,309	60.2

## &lt;山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)増減内訳&gt;

(単位:百万円)

	2023年 第1四半期		2024年 第1四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	58,420	31.1	65,012	32.4	6,591	11.3	売上高の増加 5,898 原材料費の減少 1,101 製造労務費の増加 ▲ 599 製造経費の減少 185 製造償却費の増加 ▲ 92 その他 98
販売費及び一般管理費	50,539	26.9	53,226	26.5	2,687	5.3	人件費の増加 ▲ 749 経費の増加 ▲ 1,768 償却費の増加 ▲ 170

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)の売上高に対する比率を記載しています。